

平成24年度

法律実務専攻

# 法科大学院

学生募集要項

出願期間

平成23年10月14日(金)～10月21日(金)

北海道大学大学院法学研究科

# 目 次

平成 24 年度北海道大学大学院法学研究科法律実務専攻（法科大学院）学生募集要項……………1

平成 24 年度北海道大学大学院法学研究科法律実務専攻（法科大学院）入学資格審査要項……………6

## 《添付書類》

- 入学願書（履歴書を含む）
- 受験票
- 写真票
- 検定料受付証明書台紙
- 宛名票（第2次選抜可否通知・入学手続書類等送付用）
- 検定料納付用紙
- 封筒（出願書類送付用）
- 封筒（第1次選抜可否通知・受験票送付用）

## 個人情報の取扱いについて

- (1) 本学が保持する個人情報は、「独立行政法人の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人北海道大学個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期しています。
- (2) 出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜、②合格発表、③入学手続、④入学者選抜方法等における調査・研究、及び⑤これらに付随する業務を行うために利用します。
- (3) 出願に当たってお知らせいただいた個人情報は、合格者のみ入学後の①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、③授業料等に関する業務を行うために利用します。
- (4) (3) の個人情報のうち、氏名、住所に限って、北大フロンティア基金及び本学関連団体である①北海道大学体育会、②財団法人北海道クラーク記念財団、③北海道大学法学部同窓会からの連絡を行うために利用する場合があります。

# 平成24年度北海道大学大学院法学研究科法律実務専攻（法科大学院） 学生募集要項

平成24年度北海道大学大学院法学研究科（以下「本研究科」という。）法律実務専攻（法科大学院）の入学者選考試験を下記により実施する。

## 1 アドミッション・ポリシー

北海道大学法科大学院は、21世紀にふさわしい高度な専門性と幅広い視野、さらに人権感覚と倫理性を身につけた法曹の養成を教育理念とする。そのため、入試制度においては、①基礎的な教養と社会に対する広い関心、②分析力、思考力及び表現力など、法律家としての適性、③継続的な教育に耐えうる知的素養・忍耐力を備えた人材を選抜する。また、選抜に当たっては、公平性・多様性・開放性・客観性・透明性を確保するための措置を講じる。

## 2 募集人員

法律実務専攻 80名（3年課程25名程度、2年課程55名程度を予定）

## 3 出願資格

次の各号の一に該当する者

(1)	大学を卒業した者又は平成24年3月までに卒業見込みの者
(2)	文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号参照：旧大学令による大学又は各省庁設置法・組織令による大学校を卒業した者等）
(3)	大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者又は平成24年3月までに授与される見込みの者
(4)	外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は平成24年3月までに修了見込みの者
(5)	外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は平成24年3月までに修了見込みの者
(6)	我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は平成24年3月までに修了見込みの者
(7)	専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は平成24年3月までに修了見込みの者
(8)	本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの又は平成24年4月1日までに22歳に達するもの（※）
(9)	大学に3年以上在学し、本研究科において個別の入学資格審査により、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者（※※）
※	(8)に該当する者とは、高等専門学校・短期大学の卒業者、専修学校・各種学校の卒業者、外国大学日本分校・外国人学校の卒業者など大学卒業資格を有していない者である。
※※	(9)に該当する者とは、次に掲げるすべての条件を満たす者を指す。 イ) 入学前の3月末において、大学在学期間が3年間に達し、3年次を終了すること。 ロ) 卒業に必要な単位を、2年次終了時まで70単位以上、又は3年次前期終了時まで85単位以上修得し、かつ、修得したすべての単位の3分の2以上の学業成績が在学する大学の学業成績で100点満点中80点以上、又は優以上であること。なお、2年次終了時までの成績である場合にはそのことをわかるようにすること。 ハ) 入学前の3月末において、卒業に必要な単位を100単位以上修得し、かつ、全修得単位の3分の2以上の学業成績が在学する大学の学業成績で100点満点中80点以上、又は優以上であること。 なお、停学および休学の期間は、在学期間に含まない（ただし、休学期間中に留学などさらに別の大学に在学した場合は、個別にこれを在学期間として認めることがある）。 また、入学者選考試験に合格した後に、上記ハ)に定める単位及び学業成績を修めることができないことが確定した場合、入学を取り消す。

#### 4 願書受理期間

平成23年10月14日（金）から21日（金）まで

注 必ず郵送とすること。【10月21日当日の消印有効】

（10月22日以降の消印の出願書類は受理しない。）

#### 5 資格審査

前記出願資格のうち、(8)及び(9)により出願しようとする者に対しては、別添「入学資格審査要項」により個別に入学資格審査を行う。

#### 6 出願手続

入学志願者は、次の書類を取り揃え、この要項に添付の本研究科所定の封筒に入れ、必ず「速達」の「簡易書留」郵便とし、発送すること。なお、直接持参しても受理しない。

(1) 入学願書	この要項に添付の入学願書に必要事項をもれなく記入すること。
(2) 写真3葉	出願前3か月以内に撮影したもので、上半身、正面、脱帽像のものを入学願書、受験票、写真票の所定箇所に貼付すること。
(3) 適性試験の成績	適性試験管理委員会が実施した2011年法科大学院全国統一適性試験の成績証明書を入学願書の所定の欄に必ず貼付すること。
(4) 成績証明書	在籍又は出身大学（学部・研究科等）長作成のもの。 複数の大学・大学院に在籍した場合はすべて提出すること。 （現在在籍している大学・大学院を含む。）
(5) 学修の成果を示す書類	①3年課程に出願する場合 語学検定試験（TOEFLやTOEIC等）の成績、国家資格・各種試験、学位等、自らの学修の成果を示す書類があれば提出することを認める。 ②2年課程に出願する場合 語学検定試験（TOEFLやTOEIC等）の成績、国家資格・各種試験、学位、司法試験及び司法試験予備試験の択一試験・論文試験の成績、日弁連法務研究財団及び商事法務研究会が主催した法学検定試験・法学既修者試験の成績等自らの学修の成果を示す書類があれば提出することを認める。 ③3年課程及び2年課程を併願する場合 語学検定試験（TOEFLやTOEIC等）の成績、国家資格・各種試験、学位、司法試験及び司法試験予備試験の択一試験・論文試験の成績、日弁連法務研究財団及び商事法務研究会が主催した法学検定試験・法学既修者試験の成績等自らの学修の成果を示す書類があれば提出することを認める。 ただし、司法試験及び司法試験予備試験の択一試験・論文試験の成績、日弁連法務研究財団及び商事法務研究会が主催した法学検定試験・法学既修者試験の成績等、法律に関する学修の成果を示す書類は2年課程の入学者選考でのみ考慮される。
(6) 卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書、学位授与証明書	大学院修了者等については、学部と大学院の証明書を提出すること。（北海道大学法学部又は大学院法学研究科在籍者は、卒業（修了）見込証明書を提出しなくてもよい。）
(7) 受験票 写真票 宛名票	この要項に添付の受験票・写真票・宛名票に必要事項をもれなく記入すること。
(8) 返信用封筒 （1通）	選考結果通知及び第1次選抜合格者受験票送付用。 この要項に添付の封筒に宛先を明記し、360円分の切手を貼付すること。
(9) 検定料  「15 その他」の (3)を参照すること	30,000円（3年課程と2年課程を併願する場合も左の額とする。） ①別添の検定料納付用紙の※欄に、志願者（本人）の住所・氏名（漢字、フリガナ）・電話番号を黒のボールペンで正確に記入して郵便局（ゆうちょ銀行）・銀行の窓口で振り込むこと。【ATMは使用不可】 ②「振替払込請求書兼受領証」及び「検定料受付証明書」を郵便局（ゆうちょ銀行）・銀行の窓口から受け取る際には、必ず「日附印」を確認すること。「日附印」が押印されていないと入学願書は受理しない。 ③「日附印」が押印された「検定料受付証明書（E票）」を検定料受付証明書台紙の所定の欄に貼り付けて提出すること。 ④検定料は、普通為替や現金では受理できないので、必ず郵便局（ゆうちょ銀行）・銀行の窓口で振り込みの手続をすること。

## 7 選考方法

- (1) 適性試験管理委員会が実施した2011年法科大学院全国統一適性試験の成績を参考としつつ、学修評価（学部の成績等）等を加味して、第2次選抜の実際の受験者が定員（80名）の4倍程度となるよう、選抜を行う（第1次選抜）。

ただし、事情に応じて、志願者が定員の4倍に満たない場合であっても第1次選抜を行う場合、又は、第1次選抜の結果第2次選抜の実際の受験者が定員の4倍に満たない場合がある。

- (2) 第1次選抜合格者について以下の方法により最終合格者を決定する（第2次選抜）。

3年課程への入学を志願する者には小論文試験を課し、適性試験・小論文試験・学修評価（学部の成績等）の結果により合格者を決定する。

2年課程への入学を志願する者には法律科目試験を課し、その結果により合格者を決定する。

なお、民事法系（民法・商法・民事訴訟法）、公法系（憲法・行政法）、刑事法系（刑法・刑事訴訟法）の、それぞれの系ごとの各科目の合計点において、最低ラインに達していない系が1つでもある者については、それだけで不合格とする。最低ラインは各系ごとの各科目の満点の合計点（民事法系160点、公法系120点、刑事法系120点）の20%とする。

3年課程及び2年課程を併願する場合は、小論文試験及び法律科目試験を受験しなければならない。この場合も選抜は3年課程と2年課程のそれぞれについて上記の方法で行う。

また、3年課程と2年課程を併願し、一方の試験に欠席した場合は、受験した方の課程の専願とみなす。

## 8 試 験

### (1) 第1次選抜

第1次選抜は提出書類の審査によって行う。

第1次選抜の結果は、平成23年11月4日（金）以降、受験者あて郵送により通知する。（なお、北海道大学法科大学院ホームページ上には掲示しないので注意すること。）

合格者には同時に第2次選抜試験の受験票を送付する。電話による可否の問い合わせには応じない。ただし、11月10日（木）以降においても郵送による通知が届かない場合に限り、問い合わせに応じる。

### (2) 第2次選抜

第1次選抜合格者に対し、平成23年11月19日（土）及び20日（日）に小論文試験及び法律科目試験を行う。（別表1「試験日程表」及び別表2「法律科目試験科目表」のとおり。）

## 9 試 験 場

入学願書に下記のうち希望する試験場を記入すること。（受験者数等の事情により、ご希望に沿えない場合もあるので、あらかじめ承願いたい。）

### (1) 札幌試験場

札幌市北区北9条西7丁目 北海道大学大学院法学研究科・法学部

### (2) 東京試験場

東京都文京区大塚2-1-1 お茶の水女子大学

## 10 最終合格者の発表

平成23年12月16日（金）午前10時

北海道大学大学院法学研究科・法学部事務室前及び北海道大学法科大学院ホームページ上（アドレス <http://www.juris.hokudai.ac.jp/lawschool/>）に3年課程及び2年課程最終合格者の受験番号を掲示するとともに、受験者には郵送により通知する。電話による可否の問い合わせには応じない。ただし、12月21日（水）以降においても郵送による通知が届かない場合に限り、問い合わせに応じる。

## 11 入学手続

平成24年1月16日（月）から20日（金）

入学手続の詳細については、最終合格者に別途通知する。

## 12 追加合格

入学手続の状況によっては追加合格を出すことがある。追加合格の連絡は、入学願書に記載された連絡先（⑩追加合格通知期間の連絡先）に対して、平成24年1月24日（火）から27日（金）までの間に行う。

## 13 入学時に必要な経費

学生納付金については、最終合格者に別途通知するが、平成24年度入学者の授業料等の額は、下記のとおりである。

(1) 入学料 282,000円（予定額）

(2) 授業料の年額 804,000円（予定額）

※ 上記の納付金は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金が適用される。

なお、経済状況及び学業成績に基づく通常の入学料・授業料免除のほか、入学者選考試験の成績のみに基づく入学料・授業料（初年度分）の免除（成績優秀者特別免除制度：8名）も実施する。

## 14 学生教育研究災害障害保険及び学研災付帯賠償責任保険への加入について

入学者は、在学中に起こした事故に備えるため、学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯賠償責任保険に必ず加入することとする。詳細については合格通知と合わせて通知する。

## 15 その他

(1) 出願手続後は、書類の変更を認めない。なお、受理した出願書類は一切返還しない。

(2) 身体に障害のある者で受験に際し特別の配慮を必要とする場合は、平成23年10月14日（金）までに申し出ること。

(3) 検定料の取扱いについて

次の場合を除き、いかなる理由があっても払い込み済みの検定料は返還しない。

ア 検定料の返還ができる場合

① 検定料を払い込んだが本研究科法律実務専攻（法科大学院）の出願書類等を提出しなかった場合、又は何らかの理由により出願書類が受理されなかった場合

② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合

イ 返還請求の方法

出願書類提出先に、「検定料払戻請求書（所定様式）」を返信用封筒（定形封筒 [23.5×12cm] に宛先を明記し、80円分の切手を貼付）同封の上、請求すること。（往信用封筒の表面 左下に「検定料払戻請求書請求」と朱書きすること。）

「検定料払戻請求書（所定様式）」が届き次第、必要事項をもれなく記入の上、必ず「検定料受付証明書」を添付して、【送付先】へ速やかに郵送すること。

なお、払戻しには相当の日数がかかるので、あらかじめ了承願いたい。

【送付先】 〒060-0809 札幌市北区北9条西7丁目

北海道大学 法学研究科・法学部 会計担当

TEL 011-706-3122, 3123

なお、出願が受理されなかった場合については、本学から別途返還に必要な書類を郵送する。

※ 平成24年度本研究科法律実務専攻（法科大学院）入学者選考試験第1次選抜で不合格となったときは申し出に基づいて検定料の一部を返還するが、その手続は別途通知する。なお、第1次選抜に係る検定料は7,000円、第2次選抜に係る検定料は23,000円である。

- (4) 「3 出願資格」の(9)により飛び級入学をした場合、現在在籍している大学を退学することになるため、各種資格試験等において大学の学部の卒業を要件としているものについては受験資格がなくなるので注意すること。
- (5) 平成24年度本研究科法律実務専攻（法科大学院）の入学者選考試験に関するより詳しい説明は、北海道大学法科大学院ホームページ（アドレス <http://www.juris.hokudai.ac.jp/lawschool/>）を参照のこと。  
 なお、入学者選考試験に関する追加的な説明が必要になる場合、北海道大学法科大学院ホームページに掲載することがあるので注意すること。

別表1「試験日程表」

試験日	時間	試験科目		備考
平成23年11月19日（土）	10：00～12：00	小論文試験		3年課程志願者
平成23年11月20日（日）	9：10～11：50	法律 科目 試験	民法・商法・民事訴訟法	2年課程志願者
	12：50～14：50		憲法・行政法	
	15：30～17：30		刑法・刑事訴訟法	

※ 3年課程と2年課程を併願する者はすべての科目を受験しなければならない。

なお、3年課程と2年課程を併願し、一方の試験に欠席した場合は、受験した方の課程の専願とみなす。

※ 11月20日第1時限については、受験者は試験開始時刻の30分前までに試験室に入ること。これ以外の試験については、受験者は試験開始時刻の20分前までに試験室に入ること。

別表2「法律科目試験科目表」

試験科目名（配点）	備考
憲法（80点）	
民法（80点）	家族法を含む。
刑法（80点）	
民事訴訟法（40点）	倒産・執行法を除く。
刑事訴訟法（40点）	
商法（40点）	海商・保険法を除く。
行政法（40点）	総論及び救済法。

法律科目試験については、下記の六法のうち1冊（ただし、書き込み等のないものに限る。）の持ち込みを認める。試験に持ち込む六法は最新版のものが望ましい。

- 六法全書（有斐閣），ポケット六法（有斐閣），岩波基本六法（岩波書店），デイリー六法（三省堂）のみとする。なお、上記以外の六法の使用は認められないので注意すること。また、六法を貸与することはしないので、各自用意すること。
- 六法に文字、記号、矢印、傍線、マーカーによる着色などがある場合、すべて原則として書き込みがあるものとみなす。
- 試験開始前の監督員による六法チェックの際に、持ち込みの許されない六法が発見された場合、不正行為となるので注意すること。

# 平成24年度北海道大学大学院法学研究科法律実務専攻（法科大学院） 入学資格審査要項

平成24年度北海道大学大学院法学研究科（以下「本研究科」という。）法律実務専攻（法科大学院）へ入学を志願する者のうち、本研究科法律実務専攻（法科大学院）学生募集要項「3 出願資格」の（8）「本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したものの又は平成24年4月1日までに22歳に達するもの」及び（9）「大学に3年以上在学し、本研究科において個別の入学資格審査により、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者」により出願する者の入学資格審査を下記により実施する。

## 1 願書受理期間

平成23年9月26日（月）から9月30日（金）まで

注 必ず郵送とし、期間内に必着のこと。

## 2 出願手続

入学志願者は、次の書類を取り揃え、この要項に添付の本研究科所定の封筒に入れ、必ず「速達」の「簡易書留」郵便とし、発送すること。なお、直接持参しても受理しない。

(1) 入学願書 (資格審査を含む)	この要項に添付の入学願書に必要な事項を漏れなく記入すること。
(2) 写真 1 葉	出願前3か月以内に撮影したもので、上半身、正面、脱帽像のものを、入学願書の所定箇所に貼付すること。
(3) 適性試験の成績	適性試験管理委員会が実施した2011年法科大学院全国統一適性試験の成績証明書を入学願書の所定の欄に必ず貼付すること。
(4) 成績証明書	複数の大学・大学院に在籍した場合はすべて提出すること。 (現在在籍している大学・大学院を含む。)
(5) 卒業証明書 又は在学証明書	出願資格(8)により出願する者は、卒業証明書(最終出身校のみ)を、又出願資格(9)により出願する者は、在学証明書を提出すること。
(6) 学修の成果を示す書類	<p>① 3年課程に出願する場合 語学検定試験（TOEFLやTOEIC等）の成績、国家資格・各種試験、学位等、自らの学修の成果を示す書類があれば提出することを認める。</p> <p>② 2年課程に出願する場合 語学検定試験（TOEFLやTOEIC等）の成績、国家資格・各種試験、学位、司法試験及び司法試験予備試験の択一試験・論文試験の成績、日弁連法務研究財団及び商事法務研究会が主催した法学検定試験・法学既修者試験の成績等自らの学修の成果を示す書類があれば提出することを認める。</p> <p>③ 3年課程及び2年課程を併願する場合 語学検定試験（TOEFLやTOEIC等）の成績、国家資格・各種試験、学位、司法試験及び司法試験予備試験の択一試験・論文試験の成績、日弁連法務研究財団及び商事法務研究会が主催した法学検定試験・法学既修者試験の成績等自らの学修の成果を示す書類があれば提出することを認める。</p> <p>ただし、司法試験及び司法試験予備試験の択一試験・論文試験の成績、日弁連法務研究財団及び商事法務研究会が主催した法学検定試験・法学既修者試験の成績等、法律に関する学修の成果を示す書類は2年課程の入学者選考でのみ考慮される。</p>
(7) 返信用封筒 1 通	資格審査結果通知用：定形封筒 [23.5×12cm] に宛先を明記し、350円分の切手を貼付したもの。

### 3 入学資格審査の方法

提出書類により資格審査を行う。ただし、必要と認めた者については口述審査を行うことがある。

### 4 口述審査

平成23年10月7日（金） 午前10時

### 5 口述審査場所

札幌市北区北9条西7丁目 北海道大学大学院法学研究科・法学部

### 6 入学資格審査の結果

入学資格審査の結果は、平成23年10月14日（金）までに、受験者あて郵送により通知する。

電話による結果の問い合わせには応じない。ただし、10月17日（月）以降においても郵送による通知が届かない場合に限り、問い合わせに応じる。

### 7 その他

出願手続後は、書類の変更は認めない。なお、受理した出願書類は一切返還しない。

### 8 法律実務専攻（法科大学院）入学者選考試験の受験について

本審査要項により入学資格を認められた者は、平成24年度本研究科法律実務専攻（法科大学院）の入学者選考試験を受験することができる。この選考試験を受験する者は、検定料30,000円を郵便局（ゆうちょ銀行）・銀行の窓口で振り込みの手続をした上で、「検定料受付証明書」を貼付した検定料受付証明書台紙及び受験票、写真票、宛名票、返信用封筒（この要項に添付の封筒に宛先を明記し360円分の切手を貼付すること。）を、平成23年10月14日（金）から10月21日（金）までに、本研究科あて郵送すること。

（郵送は「速達」の「簡易書留」郵便とすること。なお、受付は郵送のみとし、直接持参しても受理しないので注意すること。）

# 《記載例》

# 法科大学院入学願書

※印の箇所は該当するものを○で囲むこと。

出願受付番号
○出願者は記入しないこと

受験番号
○出願者は記入しないこと

① ※志願する課程		
1. 併願 (小論文及び法律科目試験受験者)	2. 2年課程 (法律科目試験受験者)	3. 3年課程 (小論文試験受験者)

併願を志願する者は、第1希望の課程を記入すること。

第1希望の課程	( 2 ) 年課程
---------	-----------

② ※希望する試験場	
1. 札幌	2. 東京

フリガナ ③ 氏名	ホツ カイ ハナ コ 北海花子	④本籍地(都道府県名) 北海道
⑤ 生年月日	昭和 63年 3月 3日 生 ※ 男 ・ 女	⑨写真 上半身、正面、脱帽像 出願日前3か月以内に撮影したもの (縦4.5cm×横4.0cm)
⑥ 最終学歴	国立 北海道 ※ 大学 法 学部 大学院 研究科 公立 私立	
⑦ 卒業(修了)年月	平成 23年 3月 ※ 卒業(修了) ・ 卒業(修了)見込 昭和	
⑧ 現住所	(フリガナ) サツボロシ キタク キタ9ジヨウニシ7チヨウメ 〒 060 - 0809 札幌市北区北9条西7丁目 (電 話 011 - 706 - 3964 ) (携 帯 電 話 090 - 9999 - 9123 )	

⑩ 追加合格通知期間 (1月24日(火)~1月27日(金)) の連絡先	電 話 ( 011 - 706 - 3964 )	携 帯 ( 090 - 9999 - 9123 )
-------------------------------------------	-----------------------------	------------------------------

⑪併願した法科大学院
東京大学大学院

(⑪欄の記入による不利益はありません。)

<p>2011年法科大学院全国統一適性試験成績証明カード (6月12日実施試験 受験番号) 511L-0008 ホツ カイ ハナ コ 氏名 北海花子</p> <p>本カードは開封すると無効になりますので、法科大学院に出願書類として提出される場合には、開封せずに外側の点線で3つに切り分けて、厳封されたままの状態でご提出してください(1枚のカードの大きさ:横120mm×縦76mm)。 (内側の線では開封しないでください)</p> <p>適性試験管理委員会</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

# 法科大学院入学願書

出願受付番号
○出願者は記入しないこと

受験番号
○出願者は記入しないこと

※印の箇所は該当するものを○で囲むこと。

① ※志願する課程		
1. 併願 (小論文及び法律科目試験受験者)	2. 2年課程 (法律科目試験受験者)	3. 3年課程 (小論文試験受験者)

併願を志願する者は、第1希望の課程を記入すること。

第1希望の課程	( )年課程
---------	--------

② ※希望する試験場	
1. 札幌	2. 東京

フリガナ			④本籍地(都道府県名)	
③氏名				
⑤生年月日	昭和 年 月 日生	※男・女	⑨写真 上半身、正面、脱帽像 出願日前3か月以内に撮影したもの (縦4.5cm×横4.0cm)	
⑥最終学歴	国立 ※公立 私立	※大学 ※大学院		※学部 ※研究科
⑦卒業(修了)年月	※平成 年 月	※昭和 年 月		※卒業(修了)・卒業(修了)見込
⑧現住所	(フリガナ) 〒 -		(電 話 - - ) (携帯電話 - - )	

⑩追加合格通知期間 (1月24日(火)~ 1月27日(金)) の連絡先	電 話 ( - - )	携 帯 ( - - )
----------------------------------------------	----------------	----------------

⑪併願した法科大学院

⑫  
2011年法科大学院全国統一適性試験成績証明カード  
貼付欄

(⑪欄の記入による不利益はありません。)

## 《募集要項・入学願書に関するお問い合わせ先》

出願に際して質問等がある場合は、下記にお問い合わせください。

(〒060-0809) 札幌市北区北9条西7丁目

北海道大学法学研究科・法学部学事担当

T E L     011-706-3964, 3969

F A X     011-706-4948

E-Mail    [lawschool@juris.hokudai.ac.jp](mailto:lawschool@juris.hokudai.ac.jp)